

第1回（平成21年度）「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式 京都環境文化学術フォーラム「国際シンポジウム」開催概要

1 日時

平成22年2月14日（日）

■「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式 午前10時～11時45分

■京都環境文化学術フォーラム国際シンポジウム 午後1時～4時30分

2 場所

国立京都国際会館 メインホール

3 内容

（1）「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式

グロ・ハルレム・ブルントラント氏（元「環境と開発に関する世界委員会」委員長、元ノルウェー首相／ノルウェー王国）、真鍋淑郎氏（プリンストン大学大気海洋研究プログラム上級研究員、日本学士員客員／アメリカ合衆国）、及びワンガリ・マータイ氏（元ケニア共和国環境・天然資源・野生動物省副大臣／ケニア共和国）を第1回殿堂入り者として顕彰し、認定証及び記念品を授与しました。殿堂入り者からは記念スピーチを頂戴しました（ブルントラント氏はビデオメッセージ）。



会長式辞



認定証授与



記念スピーチ



記念スピーチ

(2) 国際シンポジウム

『「グローバルコモンズを目指して」ー地球環境は私たちみんなのものー』をテーマにシンポジウムを開催しました。

ア 基調講演①



パーサ・ダスグプタ氏(ケンブリッジ大学教授)が、経済学において自然資本の価値を考慮する必要があること、「経済発展における自然と文化」に焦点をあて、経済学者が教育者や哲学者と緊密に連携し、社会を作っていく必要があること、国際社会において信頼と協力が欠かせないことを訴えられました。

イ 基調講演②



ワン・ヨンチェン氏(中国の環境 NGO 主宰)が、気候変動により、中国の自然に異変が発生していることを報告されるとともに、環境保護を進めるためには子どもたちが経済発展と自然保護とどちらが大事か正しく選択できることが重要だと話されました。

ウ パネルディスカッション



〔パネリスト〕

秋道 智彌氏(総合地球環境学研究所副所長)

末吉 竹二郎氏(国連環境計画・金融イニシアチブ特別顧問)

パーサ・ダスグプタ氏

ワン・ヨンチェン氏

〔コーディネーター〕

植田 和弘氏(京都大学大学院教授)

エ 内容

- ・ 限りある富を公平に分配する新しい価値観や経済社会システムについてパネル討論が実施されました。
- ・ 21世紀は、環境保全型の経済社会に変化することが求められており、消費者一人ひとりの責任も問われていることが指摘されました。
- ・ また、温暖化が加速する現在、スピード感をもって対策を実施する必要がある

なか、国家による規制が導入される前に早期に温暖化対策に取り組んだ企業のほうがコストは結果的に安くなり利点があることが指摘されました。

- ・ 最後に、温暖化対策には世界が信頼し協力し合う必要があり、信頼や協力を作り出すためには、多様な考えや経験・知識が交流しあう機会を設け、議論を重ねることが大切である旨総括され、パネルディスカッションは終了しました。